

2022年9月27日
安全環境防災 G

九州地区合同パトロールの報告

2022年全社安全衛生・環境・防災活動方針の重点実施事項の一つである「現場パトロールの強化」活動の一環と致して、この度第2回の九州地区合同パトロールを実施致しました。

- 1 日時 2022年 9月16日(金) 13:00~16:30
- 2 場所 三池港物流(株)、三池リサイクルセンター(汚泥焼却炉)
- 3 参加者 北九州事業所 松山副部長、進来副部長、梅野係長
三池リサイクルセンター 戸田主任
有明機電工業(株) 小柳課長、井形課員
三池港物流(株) 川口室長、安居部長
本店 湯田
全9名



物流社 8番バース 台風に備えた対策中
石炭揚陸用打込ホッパーの固定



物流社 熱中症予防の空調服の試着
(右奥物流社ハーバークレーン)



物流社 リーチスタッカーによる
コンテナのラッシング中(台風対策)



三池 RC 汚泥焼却設備の説明
(戸田主任より)



物流社 福祉センター会議室にて
パトロールの纏め

4 合同パトロール参加者の感想

【三池港物流社】

- 1) 石炭ヤードからの発塵はほとんどなく管理されていた。発塵対策はヤードコーティング剤を使用せず、石炭の転圧や石炭積み高さ制限の効果との事(石炭からの発煙もないとの事)。
- 2) 台風対策を実施中でコンテナのラッシングと荷役設備の逸走防止など事前の対策をしっかりとされていた。
今回は台風の影響により荷役作業をパトロールできなかったが、次回は日程調整を配慮頂きたい。
- 3) 周辺道路にも堆積粉がなく、粉塵対策がきちんとしてとられていた。
- 4) スーパー車運転室に屋根がなかったので、簡易の屋根等の設置を検討してみてもは。
(スーパー車の屋根については過去の検討結果が現状です。別に保有している屋根付き運転室のある大型スーパーが主に作業しているので)
- 5) 重量物の取扱に関して、引続き確実な吊具(ワイヤー等)の使用前点検をお願いします(ワイヤー点検のための色別テープ使用を確認)。
- 6) 石炭揚陸用打込ホッパーの固定溶接作業時に不適切な保護マスク装着(有明機電工業社)を発見し、現地にて責任者に注意し対策済み。
- 7) 熱中症対策のFAN付作業着(空調服)の紹介あり。屋外作業で効果大とのこと。
実際装着しても作業性は悪くなく、職場の作業環境・作業内容次第では熱中症対策として効果が期待出来ると思いました。

【三池リサイクルセンター(汚泥焼却設備)】

- 8) 職場が清潔に保たれており、きちんと管理されていた。
- 9) 事務所前に効果的に安全のぼりを揚げ安全意識向上に繋げていた。

- 10) 運転員の転倒などの管理を自動検知し監視する対応がとれていましたが、作業者に不安があれば、追加でカメラ監視等の設置を検討しては如何でしょうか。
- 11) 汚泥の消臭対応を継続実施されておりますが、臭気ゼロを目指して更なる追加対策を期待します。
- 12) 各種緊急連絡系統を事務所内の一番見える位置にしっかり掲示されていた。
- 13) フレコンバッグ荷崩れ回避のためにフレコンバッグを二段積みされていないことは良い対策と感じた。

【その他】

- 14) 第2回合同パトロールとなり、安全担当者から率直な意見交換が飛び交い、安全対策に対する議論を深めることが出来た。今後も継続して相互の安全レベルを上げていく活動の一環として続けて欲しい。
- 15) 頻度は少なくとも良いが、栃木工場と他の関係会社の安全担当者へパトロール参加を呼び掛けてはどうか。
- 16) 他社の現場をパトロールする事により作業内容や現場環境によって危険に対する受け止め方が、それぞれ異なり安全に対して感性を磨くことが非常に重要であると感じた。作業においても同様でヒヤリ・ハットと感じる人と全く何も感じない人と思いますが、その差をなくすべく今回のパトロールで学んだ教訓を活かし、危険を見える化(標識等)したり、作業標準書に反映させるなどして災害防止に努めていきたい。

5 今後の合同パトロールの予定

11月 有明機電工業(株)

九州地区合同パトロールを受け入れて頂いた三池リサイクルセンター、三池港物流社
安全関係者の皆さまに感謝申し上げます。

以上